

突哨山運営協議会 2018年度 第11回総会

議事録

2018年5月21日 18:30～

旭川市職員会館

総会では以下の確認、検討、可決がされました。

青字は訂正、追加および発言内容です。

出席者 出羽寛 黒川博義 塩田惇 舟橋健 桐一郎 尾崎良司 澤田勇
寺島一男 木村宣昭 山本牧
近文第二小学校 五十嵐徹教頭
比布町総務企画課 黒瀬祐一係長
旭川市土木部公園みどり課 田島章博課長 村田友和係長 矢萩正朋
個人10名、団体3名、合計13名

委任状提出者 森木邦男

個人1名

委員総数16名中14名の出席と委任状の提出がありました。

事務局 もりねっと北海道 中村直人 富岡雅志

議 事

- 1 2017年度の活動報告
- 2 2017年度の決算報告
監査報告
- 3 2018年度の活動計画案
- 4 2018年度の予算案
- 5 委員の募集と退任および役員の改選について
- 6 その他

1、2017年度の活動報告

経過 2017年 5月15日 総会
9月 4日 第1回協議会
12月 4日 第2回協議会
2018年 3月 5日 第3回協議会

(1) 森林の取り扱い

- 天然林 A～C：これまでと同様、自然の推移を見守り原則手を入れなかった。遊歩道にかかった、またはかかる恐れのある倒木、傾倒木は伐採し遊歩道脇に集積した。
- 人工林 D：112林班4小林班（2.2ha）を間伐。
ガイドマップ「6番」トドマツ人工林に天然林再生観察路を設置。
- 草地 E：遊歩道上への落枝処理、危険木処理を行った。遊歩道以外のササなど草地を維持する活動は無かった。

(2) 比布町、男山自然公園との連携

- 比布町の以下の企画に指定管理者、運営協議会が協力した。
 - 4月：情報ボックス整備 国道40号線へ案内看板設置
樹液採取ツアー「ピップの自然たんけんー春のゆきやま突哨山ツアー～」
春の町民参加型整備活動
 - 5月：カタクリ散策ツアー「ぴぴの路を楽しもう！春の突哨山散策ツアー」
 - 6月：ぴぴの路草刈り 外来植物の抜き取り作業
 - 10月：ぴぴの路カラマツ食害調査 情報ボックスの冬囲い
※随時、遊歩道の草刈や落枝処理などの整備を実施。
- 男山自然公園との連携は特になかった。

(3) 採集について

- ナニワズ調査（北海道大学環境科学院生物圏科学専攻植物生態学コース）
「被子植物における性システムの進化」の調査。
調査区付近の踏みつけを最小限にし、調査中の表示を条件に実施
- 土壌調査（北海道大学環境科学院 生物圏科学専攻 森林圏環境学コース）

「ミミズと土壌環境の関係」の調査。

遊歩道から10m程度離れた場所で行い、土壌は植生を痛めないよう埋め戻すこと、調査中の表示を条件に実施。

(4) 外部団体による外来生物対策

・春先のセイヨウオオマルハナバチのモニタリングと防除活動（大雪と石狩の自然を守る会・大雪山マルハナバチ市民ネットワーク）

・アライグマ（旭川生物多様性保全推進協議会）

旭川生物多様性保全推進協議会総会が6月6日（水）にあり、その後に昨年の結果について報告する。

(5) 自然生態系の調査

①カタクリ開花調査

4月2日～5月25日（11回）。開花状況を調査し、指定管理者のホームページで開花の情報提供を行った。「突哨山カタクリ速報」ブログ。

②植生調査

6月9日 ササ、カタクリ調査

(6) 市民、市民グループ、研究者を含めた突哨山での活動

4月

- ・4月29日～5月7日 花案内人の活動（もりねっと）
- ・4月～5月末まで毎週 セイヨウオオマルハナバチのモニタリングと防除活動（大雪と石狩の自然を守る会・大雪山マルハナバチ市民ネットワーク）
- ・オオハンゴンソウの駆除活動（突哨山作業グループ）
- ・4月12日、4月24日～26日 近文第二小学校の総合的な学習の時間、生活科の時間（もりねっと協力）
- ・ぴぴの路の清掃活動と樹液、間伐体験（比布町）
- ・4月21日 カタクリ広場整備（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・4月27日 ナニワズ調査（北海道大学環境科学院 植物生態学コース）

5月

- ・5月3日 カタクリフォーラム（カタクリ楽団／突哨山と身近な自然を考える会）
- ・5月25日 遊歩道距離測定（大雪と石狩の自然を守る会・大雪山マルハナバチ市民ネットワーク）

- ・野の花観察会（突哨山と身近な自然を考える会）

6月

- ・6月14日 ナニワズ調査（北海道大学環境科学院 植物生態学コース）
- ・6月17日 フラワーソン（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・6月24、25日 みどりの回廊展活動パネル展示（突哨山と身近な自然を考える会／もりねっと）

7月

- ・7月1日 コウモリ観察会（オサラッペコウモリ研究所）
- ・7月20日 頂上ルート草刈り作業（突哨山運営協議会）
- ・7月29日 野の花観察会（突哨山と身近な自然を考える会）

8月

- ・8月8日 土壌調査（北海道大学環境科学院 森林圏環境学コース）
- ・8月11日 野の花観察会（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・8月30日、9月1、4日 近文第二小学校の総合的な学習の時間、生活科の時間（もりねっと協力）

9月

- ・9月9日 野の花観察会（突哨山と身近な自然を考える会）

10月

- ・10月5、6日 近文第二小学校の総合的な学習の時間、生活科の時間（もりねっと協力）
- ・10月9日 現地検討会
- ・10月25日 ぴぴの路カラマツ食害調査（もりねっと協力）

11月

- ・11月5日 芋煮会（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・11月10日カタクリ広場東屋塗装作業（突哨山と身近な自然を考える会）

12月

- ・12月10日 間伐体験クリスマスツリーのおすそ分け（もりねっと）
- ・12月10日 間伐体験（札幌麦の子会主催 もりねっと協力）
- ・12月18日 [国土地理院より（株）安川測量の突哨山山頂標高の計測値を地理院地図に反映させたとの連絡。](#)

2月

- ・2月14日、28日 近文第二小学校の総合的な学習の時間、生活科の時間（もりねっと協力）
- ・2月19日 酪農学園大学森林実習（もりねっと協力）

(7) 指定管理者による通常管理業務

- ・巡回：週1回、強風や大雪後の緊急巡回も行った。
- ・遊歩道の草刈り：6月、9月。
- ・トイレ：①突哨山駐車場：指定管理者の巡回時の清掃、点検。
②カタクリ広場：突哨山と身近な自然を考える会の清掃、点検。

(8) 情報発信、普及活動

協議会への市民からの意見、要望等の受け入れと協議会からの情報発信

- ・突哨山ガイドマップの編集作業、配布
第8版5000部を運営協議会編集、指定管理者が発行し、現地の情報ボックスをはじめ、各施設や店舗に配布した。
- ・協議会ニュース
指定管理者のホームページ内で発信。カタクリ速報、イベント告知、協議会議事録。
- ・「みどりの回廊展」（6月、あさひかわ自然共生ネットワーク主催）にもりねっと（指定管理者）が参加し、協議会の活動をPRした。
- ・ブログ発信
もりねっとのホームページで、突哨山の近況・活動報告を随時発信。
- ・入山記帳ノートによる意見や要望の聞き取りと、協議会への報告。

寺島 セイヨウオオマルハナバチの駆除活動ではなく、モニタリングと防除活動。また、同活動は大雪山マルハナバチ市民ネットワークと共同で実施している。

事務局 訂正いたします。5月に同団体で突哨山遊歩道距離の測定実施について記載されていなかったのを追加します。

出羽 12月に国土地理院地図の突哨山標高が変わった件も追加して下さい。
事務局 了解しました。

出羽 その他、追加訂正等ありませんか。

全員 なし

2、2017年度の決算報告、監査報告

2017 年度 突哨山運営協議会 決算報告

収 入

科 目	予算額	決算額	備 考
繰越金	47,621	47,621	
運営募金			
企画収入			
雑収入	13		△13
合 計	47,634	47,621	△13

支 出

科 目	予算額	決算額	備 考
企画費	20,000		運営協議会の活動記録作成
印刷費			
通信費	10,000	9,840	会議案内 郵送代
消耗品費			
雑 費			
予 備 費	17,634	37,781	次年度繰越金
合 計	47,634	47,621	△13


監査報告書

2017年度の突哨山運営協議会決算について、経理簿、通帳、支出関係書類の監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。

2018年⁵月10日

監事 工藤 稔 

2018年5月12日

監事 澤田 勇 

出羽 2017年度の決算報告、監査報告について異議等ありませんか。
全員 拍手にて承認。

3、2018年度の活動計画案

(1) 森林の取り扱い基本方針に伴う実施計画

- 天然林 A～C：原則、自然の推移を見守る。
- 人工林 D：7年計画の6年目。16.28ha 中残り4ha。
今年度2haの間伐予定。
間伐イベントの実施。
「6番」トドマツ人工林 森林再生観察路の整備。
- 草地 E：原則、自然の推移を見守る。
- 遊歩道上への落枝、危険木は取り除く。
- 植生調査：ササカタクリ調査
草本調査は2018年実施予定。(3年毎)
樹木調査は2019年実施予定。(5年毎)

(2) 外来生物対策および採集

- ナニワズ調査(北海道大学環境科学院 生物圏科学専攻 植物生態学コース)
- 春先のセイヨウオオマルハナバチのモニタリングと防除活動(大雪と石狩の自然を守る会・大雪山マルハナバチ市民ネットワーク)
- オオハンゴンソウ、オオアワダチソウの抜き取り(突哨山作業グループ)
- アライグマ(旭川生物多様性保全推進協議会)

(3) 市民参加の促進(現在の予定)

- 4月28日～5月6日 花案内人の活動
- 5月3日 カタクリフォーラム、NHK取材(Wild Hokkaido)
- 5～10月に毎月1回、野の花グループ(考える会)と共催で観察会の開催。
- 5月～3月、近文第二小学校総合学習。もりねっと協力
- 6月～7月、コノハズクの声进行会(突哨山と身近な自然を考える会)
- 6月、みどりの回廊展に参加(もりねっと、突哨山と身近な自然を考える会)
- 7月～8月、コウモリ観察会(オサラッペ・コウモリ研究所)
- 9月 紅葉を愛でる突哨山観察会(もりねっと)
- 12月、間伐体験(もりねっと等)

(4) 比布町、男山酒造との連携

- 「びびの路」の管理や、比布町主催の突哨山で開催されるイベントへの参加並びに告知の協力、人工林の手入れやイベントなどで今後も比布町と連携を進める。
- 男山酒造とは課題が出てきた段階で考える。

(5) 情報発信、普及活動

- 突哨山ガイドマップの編集作業と配布 第9版5000部作成。

主な配布先 情報ボックス 1000

旭川市観光協会（まちなか情報センター）500

比布町役場 500

突哨山通信 322

OMO7（旧旭川グランドホテル） 100

- 協議会ニュース もりねっとホームページ内
- 「みどりの回廊展」への参加
- ブログ発信 もりねっとのホームページで、突哨山の近況・活動報告を随時発信。
- 入山記帳ノートでのコメント返信
- 突哨山便り もりねっとHP ブログ掲載。情報ボックス内でのお知らせ。

(6) 突哨山運営委員による活動

- 現地検討会の実施
- 頂上までの草刈の実施 6月頃
- 協議会発足からの活動記録誌の作成。

出羽 みどりの回廊展は6月16、17日の予定です。

「239m地点」の表記は「頂上」でいいのではないか。

事務局 訂正します。

出羽 2018年度の活動計画案について異議等ありませんか。

全員 拍手にて承認。

4、2018年度の予算案

2018 年度 突哨山運営協議会 予算案

収 入

科 目	2018 年度予算	備考
繰越金	37,781	
運営募金	14,000	今年度から回復
企画収入		
雑収入		
合 計	51,781	

支 出

科 目	2018 年度予算	備考
企画費	45,000	記念誌作成他
印刷費		
通信費*		
消耗品費		
雑 費		
予 備 費	6,781	
合 計	51,781	

* 通信費は指定管理者が負担します。

出羽 記念誌作成等もあり今年度から募金を復活させたい。通信費については指定管理者が負担する。

2018年度予算に関して異議等ありませんか。

全員 拍手にて承認。

出羽 協議会の規約に総会の成立要件が記載されていない。規約の追加が必要ではないか。

寺島 以前、申し合わせがあったのではないか。

出羽 記録を調べて、必要であれば規約の追加を役員会で検討して提案する。

5、委員の募集と退任および役員の改選について

(1) 「あさひばし」3、4月号「広報ぴっぴ」4月号及びもりねっとHPにて募集告知を実施しました。新委員への応募は2名ありました。(資料1-A)

- ・東川町 藤井 勉(ふじい つとむ)さん
- ・旭川市 佐藤 仁親(さとう よしちか)さん

出羽 役員会で検討して2名の協議会への入会について提案します、異議等ありますか。

全員 異議なし。

(2) 「突哨山運営協議会委員の再任確認のお願い」にて再任及び退任の意思確認を実施しました。工藤由紀子さんから退任の意思表示があり、夫の工藤和彦さんに運営委員を引き継ぎたいとの申し出がありました。この取り扱いに関してご検討をお願いします。他11名および3団体からは再任の承諾をいただきました。

出羽 工藤由紀子さんから退任の申し出がありました。工藤和彦さんの入会に関しては委員の募集期間が過ぎているが、応募用紙を提出してもらい、次回の協議会で選考、決定したい。

澤田 次回の協議会までは期間が長すぎるので役員会で選考、決定してはどうか。

全員 異議なし

(3) 役員の改選について(2017年役員は資料1-B)

会長1名、副会長1名、事務局幹事1名、幹事若干名、会計1名、監査2名、

出羽 役員改選について提案ありますか。

無いようなので事務局から提案願います。

事務局 会長、副会長、事務局幹事、幹事、監査については再任、会計については事務局幹事の兼務を提案します。

全員 拍手にて承認。

6、その他

(1) 2018年度花案内人の報告

今年も4月28日から5月6日まで花案内人活動を行いました。

(資料2)

(2) 突哨山での半翅目およびホタルの調査について

北海道教育大学旭川校理科教育専攻奥寺先生から突哨山での半翅目（カメムシ類）調査およびホタル生息数の調査申請がありました。

生息数の少ない突哨山では成虫、特に幼虫捕獲によるホタル個体群への影響の恐れがあり、そのことについて資料3の示した条件で調査を行ってもらうよう、市へ運営協議会の意見を提出しています

(資料3)

(3) 2018年5月のヒグマ対応について

- ・これまでの経緯と今後の対応（資料4）
- ・5月予定の植生調査の実施について

<参考>ヒグマの対応策ルール

a)ヒグマの糞、足跡、爪痕などの痕跡、目視による確認があった場合、またはヒグマと思われるような事象が確認された場合は、直ちに旭川市土木部公園みどり課、環境部環境総務課、比布町産業振興課林務係、猟友会、突哨山運営協議会への連絡を行い、状況調査の協力要請を出す。

b)指定管理者・旭川市土木部公園みどり課、環境部環境総務課、比布町産業振興課林務係、猟友会、突哨山運営協議会などの関係団体により、現地確認をする。

c)猟友会の見解などをふまえ、状況に応じて住民・関係機関への警戒情報、入山の見合わせ・入山規制等の告知、捕獲・捕殺処置、新聞報道依頼などの処置を検討し、指定管理者が実施する

事務局山本よりヒグマの目撃情報などこれまでの経緯について説明

出羽 市の方としては今後どのように対応していくのか。

旭川市公園みどり課村形係長 旭川市環境部、比布町、指定管理者と連携し定期的に調査を継続していきたい。

出羽 比布町はどうか。

比布町総務企画課黒瀬係長 旭川市と同様です。

出羽 植生調査など突哨山での活動については入山規制が解除されるまで延期する。

以上